山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP　令和５年３月１３日（月）　第６１号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

日野・潤徳小に行ってきました

ＨＰにも掲載していますが、先週１０日（金）に東京の潤徳小を訪問しました。朝から全校朝会で話す模様をオンライン配信したのですが、音声が入ってないという大失態・・申し訳ありません。以下の話をしました。

１　恒例“錦鯉”ネタ挨拶「こんにちはー」でスタート。簡単に自己紹介をしました。

２　「くまもと弁」講座　①２問出題　②運転手と熊本県外から来た乗客の会話から「おみやげ」の披露

３　①くまモン人形　②熊本日日新聞３部（くまモン４コママンガ入り）　③山都町観光案内ＤＶＤ・パンフレット等　④潤徳小学校児童が書いた寄せ書き

全教室を周りました。子どもたちは温かく歓迎してくれました。人なつっこく活気のある学校という印象です。今後の交流に確実に弾みがつきました。

我以外皆我師也（われいがいみなわがしなり）　～子どもたちに学ぶ～

この見出しは小説家・故吉川英治氏の言葉です。読んで字のごとく、「全ての人から学ぶことがある」というものです。先週、３人（２人は下記を参照）の子から手紙をもらいました。私は心が温かくなると同時に、子どもから多くを学びました。小学生だから文章表現は未熟です。しかし、そこには純粋な「感謝の心」や「礼儀正しさ」が含まれていました。「感謝や礼儀を手紙にして表す」・・大人でもなかなかやれていないことです。また、今回の日野潤徳小訪問帰りの羽田空港では、私の中学校勤務時代の生徒（東京在住）と会う機会がありました。まだ　　歳と若いのですが、彼女のいろんなことに挑戦するたくましい生き方に私も大いに刺激をもらいました。年下から学ぶ機会が何かと多い週でした。

潤徳抄

（日野）潤徳小訪問では、サプライズをしかけた私も逆にサプライズの洗礼を受けた▼休み時間に２名の児童が校長室に手紙を届けに来てくれたのだ。朝、私が来たことを知ったのだからスキマ時間で書いたはずだ。胸が熱くなった▼給食時間に全教室を回っていたら、サインをもらいに来る子が増えに増えて、ちょっとしたサイン会になった。３０人分以上は書いたのではないかと思う。うれしかったが、翌日、右手の握力が弱っていた（苦笑）▼あるクラスでは、都道府県名を記入するテストがあっていた。私たちが入室すると「絶対に間違えてはいけない県があるよねー」と檄が飛んだ。私が見た子は熊本県が空欄だった。斉藤校長は、すかさず無言でくまモン人形をその子の隣に置いた（笑笑）▼先生方とも直接の交流ができた。九州出身の先生方もおられて、温泉や焼酎ネタ話で盛り上がった。（日野）子どもたち・先生方に感謝！